

あうみネット

淡海の市民活動・
ネットワーク情報誌

あうみネット

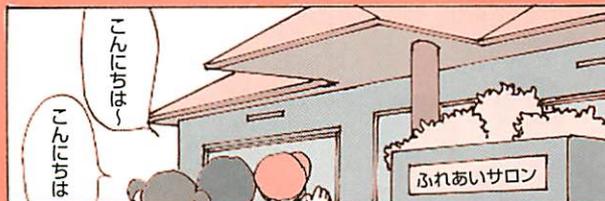
Communication Paper for Voluntary Network in Ohmi



人と人を結ぶ♥
ネットストーリー

ふれあいサロン 編

作 杉尾尚子



トピックス

TOPICS

「介護保険とNPO」

淡海ネットコラム

民の智力を育む
琵琶湖の上に言語空間を広げよう

スポットライト

- プリン山の会
- 喜兵衛塾
- 日本カロム協会

市民&企業&行政ネット

め・と・て・と・ねっと

日本セーフティウォーター株式会社

『単なる寄付では意味がない、
障害者の仕事につながる支援がしたい。』

伝言板 9月・10月

心をむすんで リレーエッセイ

●サロンから生まれたい関係●

センター・インフォメーション

2000.9
September
No.19

淡海ネットワークセンター

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

TOPICS

「介護保険とNPO」

介護保険法が4月に施行されて約半年。これまでは行政か社会福祉法人、医療法人などに限られていた福祉の分野に民間企業とともにNPOが参入しました。今回のおうみネットでは、介護保険を通して見えてきた、NPOの役割と可能性を考えてみます。



利用者本位の介護サービスを

●NPO ぼほハウス

基準該当サービス事業者（注）として県内初の指定を受けた彦根市にあるNPO ぼほハウス。きっかけは98年に開催された『女性の明日を考える市民のつどい』でした。介護保険の勉強をしていく中で、「営利目的の事業者では、サービスの質が心配だ、自分たちが倒れたときに安心して呼べるヘルパーを出していこう」と、99年4月に発足しました。

なるほど、利用者が望むことと介護保険との差が見えてきて、介護保険で対応できない部分をボランティアで対応しています。彦根市以外からもサービスを求める声がたくさん届きますが、今でも手一杯で、十分な仕事ができていると感じていたり、やはり自分たちの住んでいるまちを大事にしていきたいということから、NPO法人格の必要性をあまり感じないということです。「ぼほハウスの“ぼほ”はタンポポの“ポポ”。綿を飛ばして各地域にぼほハウスが広がっていけば」と、代表の山脇さんが語ってくれました。

高齢者が「普通に暮らせる」拠点として

●共生舎なんてん

共生舎なんてんは、今年の3月に石部町最初の宅老所として開設されました。開設者は溝口さん。従来の福祉のあり方に疑問を抱き、地域の中で障害者問題に長年取り組んでこられた方です。開設のきっかけは、介護保険の勉強会に参加したり、町の介護保険策定委員として勉強していくうちに、「**高齢者に必要なのは地域の中で普通に暮らしていける拠点である**」との思いを強めたことです。当初は、グループホームを地域でつくりたいという思いでしたが、まずは宅老所からと、町内の一軒家を購入しスタートしました。宅老所のスローガンは「住み慣れたところで・なじみの人と・やりた

■共生舎なんてん
TEL 0748-77-8346
石部町石部東3丁目1-5



●ヘルパーの実習風景

現在、ヘルパー派遣部門とボランティア部門、幼児部門の3つに分かれて活動しています。ぼほハウスのヘルパー派遣は、利用者の自立を促すため、利用者にとって何が一番大事かということが常に考えられています。しかし一生懸命になれば

■NPO ぼほハウス
代表 山脇 晴子さん
TEL.0749-22-3222
彦根市小泉町869
人数/約50人
設立/1999年4月



●理事長の山脇さん（左）とヘルパーリーダーの高木さん（右）

「宅老所をコンビニの数だけつくろう」というのが宅老所関係者の合い言葉だそうです。



●理事長の溝口さん

(注) 法人格を持たないグループでも、基準をクリアして市町村の認可を受ければ、その地域に限り介護保険サービスを提供できる制度

おうみをかんがえる... 淡海ネットコラム

おうみネットワークセンターに期待すること
民の智力を育む
琵琶湖の上に言語空間を広げよう



淡海文化振興財団
運営会議委員
SCCJ
(日本サステナブル・
コミュニティ・センター)
事務局長
浅野 玲子

「21世紀日本の構想懇談会最終報告書」によると、「多様性が基本となる21世紀には、自分の責任でリスクを負い、先駆的に挑戦する「たくましく、しなやかな個」が求められる。個が自由で自発的な活動を行い、社会に参画していくことにより、従来の上からの「公共」でなく、個人を基盤とした新たな公が創出される。

NPOの運営に携わることにより、「自分で考え、行動することに対する自己責任」の習慣をつけることは、「個」の確立には欠かせないプロセスである。このように、個の確立や民の活力は、自分の自発性の開発により可能となり、豊かな言語空間（表現の自由、透明性、流通性）を構築することができる。それにより物心ともに健全で豊かな社会ができると私は考える。おうみネットワークセンターも開設以来3年間市民の自立性のサポートをされてきた。いうならば言語空間を広げる努力をされてきたといえる。

最近非常に気になる報告があったので、ここで紹介しよう。教育改革国民会議 第1分科会の審議の報告では、他者への献身や奉仕の心を育むために、小中学校で2週間、高校では1ヵ月間、青年は1年間の「奉仕の義務付け」をしており、報告書全体のムードは全体主義の何ものでもない。行政が奉仕を強要するのはファシズムであり、箱やフレームをいくら行政が作ったとしても、仏作って魂宿らず。おうみネットワークセンターには、市民のための情報拠点として、湖国を渡る風のように、民のネットワークの効果的な形成や活力を養うような情報を絶え間なく流す、そういう組織であって欲しい。



●滋賀地方自治研究センターの北川憲司さん

「インタビュー」
滋賀の介護保険仕掛け人に聞く
介護保険に関わるNPOの動きから、地域でNPOを中心とする市民活動のこれからのあり方について、介護保険法制定前から関わり、滋賀県の介護保険の仕掛け人と言われる滋賀地方自治研究センターの北川憲司さんに編集ボランティアの大山純子さんが聞きました。

大山：介護保険が始まりましたが、制度とは別にボランティアや地域の役割というところを考えると出てきているのでしょうか？

北川：介護保険は、核となる部分しかできないわけですから、その周辺のもの、限度を超える部分は地域でつくっていく。ボランティアサービスマスター、宅老所やふれあいサロンなどをいかに地域でつくっていくかが問われています。介護保険は新しいまちづくりの大きな出発点とも言えることが出来ます。地域で汗をかかなかったら、これからの時代、地域間競争に負けてしまいます。

サービスマスターの良し悪しを知るには、情報、商品知識を利用者に誰でもアクセスできる環境をつくること、つまり介護の世界で消費者運動をどう起こすかです。商品知識があれば比較ができるし、議論ができます。介護保険が不十分なままでスタートしていることは皆さん知っているし、そのために制度の見直しもあるわけです。

大山：5年後のその見直しまでに市民サイドでやっておかねばならないことは何でしょうか？

北川：まず、介護保険を人任せにしないで、自分たちがサービス主体として介護分野に入っていくという姿勢が大切です。これは事業者（NPOも含む）としてでもいいし、ボランティアとしてでもいい。もうひとつの大きな役割は、消費者情報がきちっと出されてもそれを選ぶ中で騙される人もいるので、個々のサービス事業者がどれだけ良いか悪いかも含めて、市民サイドでチェックする機能が必要になってきます。

大山：『なんてん』の溝口さんは「コンビニの数だけ宅老所を」と言っておられます。滋賀県がそうなれる可能性はありますか？

北川：地域に密着した小規模な痴呆対応のグループホームを目指しています。そのためには、NPOが地域でグループホームをつくっていくことが大切です。ただ、即グルーブホームを、というところから難しい面がある。そこでできることからやっていこうということです。宅老所や地域サロンの立ち上げに向かっているいろいろなグループメントが起きています。宅老所というのは、小規模・多機能・双方向・地域密着のアラジンのランブみたいなものです。そして、コミュニティをベースにした地域サロンの下ざえがあつてはじめて宅老所やグループホームへの理解が進むと思っています。地域の人の意識が変わり、ある臨界点に達したら一気に流れる。だから臨界点にいかにも早く持っていくか。そのように頑張りたいですね。

インタビューを終えて

介護保険をきっかけに、市民が大きく動き出し、女性の社会進出もめざましいものがあります。今回、2つのNPOを取材して、発想の柔軟さ、行動力、支える市民の力に感心し、新しいまちづくりへの意欲に共感を覚えました。21世紀は間近。たくさんの点がネットワークを結んで面への広がりを見せる時、北川さんの言われる臨界点がいつ訪れるのか、楽しみです。

(編集ボランティア 大山純子)



私たちと一緒に

『カロム』を楽しみませんか？

彦根エリアだけに残る
懐かしいゲーム

ビリヤードのポケットゲームとおなじきを混ぜ合わせたようなゲーム。それがカロムです。四角い盤の上で、2人または4人でバックと呼ぶ円筒形の玉を指ではじいて勝負を競います。カロムの起源は、12〜13世紀のエジプトにあるといわれ、今でも似たゲームが世界各国で盛んに行われています。日本へは明治末期から大

●日本カロム協会

正初期に伝わったとされていますが、不思議にも今残っているのは、彦根を中心とする湖東・湖北地域だけということです。カロムは家庭での団らんや地蔵盆の時など、子どもの集まる場所



●事務局長の田島さん(左)と広報の寺嶋さん(右)

で行われてきました。13年前に彦根青年会議所のメンバーが中心となり、この地域に伝わるカロムをまちづくりのツールにしようと考え、カロム日本選手権大会を開いたのが、普及のきっかけとなりました。JCを中心にして10年ほど活動を続けてきました。大会は13回目を迎え、参加者も700名前後が集い、会員も海外にまで広がっています。

手軽に、楽しく

地域文化を外へと発信

「年齢に関係なく誰とでも手軽に楽

しめるカロムは、コミュニケーションのよい機会にもなります。また、指を使うので老化防止にも役立ちます。」と、田島事務局長。「カロムというこの地方に残された地域文化を育み、外へと発信していきたい。将来、日本選手権大会を彦根以外の地でも開催したいと思います。カロムがぎくしゃくとした世相の中で一遇を照らす存在になつてくれれば」田島さんの夢は大きい。(編集 森口行雄)

日本カロム協会

代表 和泉一雄さん
TEL0749-22-7522
FAX0749-22-9018
会員数220人
設立1998年



●カロム大会の様子

近所の助け合いの延長で いつでも誰かにつながる「安心感」を

●プリン山の会

携帯電話で、 老夫婦の世帯をサポート

「自宅療養中のご主人から奥さんの仕事先に容体が思わしくないと電話が入り、ご近所に様子を見てもらおうと電話したが留守宅ばかり。何とか連絡がついて大事には至らなかったのですが、これは決して他人事ではなかったんです」と世話役の



●プリン山をイラストに描いたカード

メンバーの一人折坂明子さん。このことをきっかけに、95年、「二丁目北助け合いプリン山の会」を8名の女性で結成。「プリン山の会」がある日吉台は25年くらい前にできた新興住宅地で、当時入居してきた人たちが子育てを終え、今は老夫婦だけが暮らす世帯が増えてきた。「プリン山の会」では、8名が世話人として1ヶ月交替で携帯電話を持ち、かかってきた内容によって、活動会員をコーディネートする。

さらに、お互いに

顔の見える関係づくりを

「専門的なことは専門家に任せます。

私たちは頼むほうも頼まれるほうもお互いに顔が見え、小さなことでも気軽に頼める近所の助け合いの延長でやっています。近所だからすぐ飛んで行ってあげられるのが良さですね」。各世帯に電話番号を書いた紙を配って電話の横にはってもらっている。中には遠く離れて住む子どもさんに番号を知らせている人もある。

「今は月2〜3件の利用ですが、かけたらいつでも誰かにつながるという「安心感」がうれしいと言ってもらっています」。活動を支持する輪も広がり、70世帯から賛助会員として資金的な援助を得ている。高齢化が進む中、課題は尽きないが、「私

たち皆が少しずつ意見を出し合って住み易いと思えるまちにしていきたいですね。さしあたっては喫茶室を開いて顔の見える関係を広げたいと思っています。」

(編集ボランティア 谷口久美子)

ト IGHT!

くり…、
かされている方々に
を詳しく紹介します。



●プリン山の会を中心に活動している皆さん(プリン山の前で)。

プリン山の会

代表 折坂明子さん
TEL 090-3849-2180
大津市日吉台1丁目北
人数/30人 設立/1996年



それぞれの思いを自由に話して
研さんを図る

メンバーは商店主・会社員・美容師など、現在20名。近江八幡のことが気になり、しかも自分の考えをしっかりと持った人が参加条件です。お互いが近江八幡に対するそれぞれの思いを平等の立場で自由に話すことによって、互いの研さんははか

「よそでは人が欲しがっているものが、この近江八幡には当たり前のようにたくさんあるのに、地域の人はそれに気づいていない。文化や経験が若い人に伝えられていない」と、Uターン経験者の高木茂子さん。「地域のことを勉強し地域をもっと知ろう。近江八幡の宝を次代に伝えよう」と、始まったのが「喜兵衛塾」です。

月に1度、八幡堀にある郷土料理店「喜兵衛」の座敷を会場に、地域にこだわったテーマに沿ってフリートークを交わします。時には、講師を呼び学習会も開催しています。あくまでも地域にこだわり、歴史から食べ物、特産品まで幅広いテーマで、時にはメンバー以外の人も参加し、議論がなされています。

「私たちの活動は、自分たちのまちに対してのプライドづくり。近江八幡の宝を次の世代にどう伝えるか、次の世代のために私たちは何ができるのか、メンバー共通の思い」と高木さん。「これからは、学習の成果を集大成として発信したい」。楽しく気軽に、されど真剣に活動は続いています。(事務局 川勝六四)

喜兵衛塾

事務局 高木茂子さん
TEL 0748-33-2914(ラビットハウス内)
FAX 0748-33-3514(ラビットハウス内)
近江八幡市出町487-1
人数/20人
設立/1995年

スポットラ

! SPOT L

環境・福祉・まち

滋賀県内でキラキラ元気に活動
スポットライトをあて、その活動

自分たちのまち・近江八幡への 「プライドづくり」を

近江八幡の宝を次代に

●喜兵衛塾



●事務局の高木茂子さん

います。喜兵衛塾では、活動を見直すため2年に一度解散することが会則で決まっています。現在は3期目。塾を去ったメンバーは、OBとして関わっています。

「私たちの活動は、自分たちのまちに対してのプライドづくり。近江八幡の宝を次の世代にどう伝えるか、次の世代のために私たちは何ができるのか、メンバー共通の思い」と高木さん。「これからは、学習の成果を集大成として発信したい」。楽しく気軽に、されど真剣に活動は続いています。(事務局 川勝六四)

市民&企業&行政ねっと

日本セーフティウォーター株式会社



め・と・て・と・ねっと★

単なる寄付では意味がない、障害者の仕事につながる支援がしたい。



真ん中が山西一由社長、宮本さん(左)、増村さん(右)

日本セーフティウォーター(株)は逆浸透膜濾過方式で安全な水の開発に成功。続く天然成分配合の保湿クリームが全国的に大ヒット。アレルギー体質や自然派のユーザーから絶大な支持を受け、経営が軌道に乗りました。山西社長自らの人生哲学「環境・福祉・共生」をテーマに地域貢献を展開、車椅子障害者の宮本さんと出会い、障害者が置かれた厳しい現状に驚き、彼をスタッフに迎え当事者の声を生かした「仕事おこし」の支援を本格的に開始。県の社会就労事業振興センターと連携し、「ヨシの名刺印刷」を柱に、共同作業所5箇所にも名刺印刷機を整備、行政からの大口受注も取り

付けました。この夏、市民ボランティアから生まれた廃食油から液体石鹸を作る共同作業所「リサイクルせっけん「ゆう」」を同社の近江八幡にある環境共生館内に協力して開設。また、一般の人にもっと作業所の製品を見てもらおうと「ナイスハートショップ四季の森」を瀬田ヒカリ屋前にオープン。運営は今日も一日がんばった本舗共働作業所が担っています。「会社の利益を宣伝費などに使っても何も残らない。障害者の仕事おこしを支援すれば、生きた投資につながると思っています。」福祉現場に新しい風を起す山西社長のチャレンジ精神は、企業の社会貢献の新しいカタチを提案しています。

障害者の手作りショップ「四季の森」月～金・10時～6時営業。



●お問合せ 日本セーフティウォーター株式会社
大津市春日町5-19 TEL.077-525-5361

日時・場所・問合せ先等を明記の上、10月10日までに
FAXまたは郵送でセンターまでお寄せください。

内容●エイズ新事情についてスライド
とお話 講師●水口保健所医師・嶋村
清志さん他 会場●草津市コミュニテ
ィセンター 参加費●500円
問合せ●滋賀エイズを考える会
TEL 077-594-4436(岡崎)

講演会「育ちを支えるもの」 10月28日(土) 13:30~

講師●三原透さん
(教育相談センター相談員)
会場●大津市生涯学習センター
参加費●無料(先着50人)
問合せ●渡来和子
TEL 077-525-8976

ネイチャーゲーム初級指導員養成講座 11月3日(金)~5日(日) 13:00~

会場●荒神山少年自然の家
参加費●24000円
問合せ●びわこネイチャーゲームの会
TEL 0748-74-3645(近野)

参加者募集

湖国21世紀記念事業 夢〜舞めんと滋賀・活動募集(第2回) 8月18日(金)~9月30日(土)

募集する活動●さらにチャレンジ(実
践交流活動)／はじめてチャレンジ(活
動スタート)
支援の内容●相談、広報、活動資金等
の支援 公表●12月上旬
問合せ●湖国21世紀記念事業協会
TEL 077-528-3677

YMCA青少年サポートセンター グループ活動参加者募集 9月9日(土)・23日(土) 10:00~

内容●不登校の子どもや青少年のグル
ープ活動 場所●彦根YMCA集合
参加費●1000円(他に月登録費など)
問合せ●彦根YMCA(斎藤)
TEL 0749-23-1646
sigaymca@grn.mmtr.or.jp

エコロールプレイ 「津田内湖干拓地を考えよう」 9月9日(土) 13:30~

会場●県立女性センター 参加費●無料
問合せ●滋賀県立大学環境科学部(井手)
TEL 0749-28-8346

第3回びわこほたるコンサート 「作詞」募集

テーマ●夢や思い、いのちの尊さ、生
きる喜び、我が子やクラスの教え子た
ちへの熱き志など 応募資格●心身に
障害がある本人(大人)またはその保
護者、養護学校・養護学級の教諭。

映画上映会とその前のビデオ上映会 映画「続・住民が選択した町の福祉 ~問題はこれからです」 9月30日(土) 9:30~

会場●南彦根サンパレス 参加費●前売券3000円 先着350名
問合せ●女性がいきいき暮らすための生活文化を考える会 0749-23-0007(阿部)

締切●9月15日(金)消印有効
問合せ●びわこほたるコンサート事務
局(近藤) TEL 077-524-7681

「うだつ」って何? 滋賀らしい建物・住まい・まちなみ募集

内容●21世紀につなげたい「滋賀らしさ」
や「先人の工夫」が生かされた建物、住
まい、まちなみを募集しています。
募集期間●9月20日(水)まで
応募方法●所定の応募用紙に必要事
項を記入し、写真やイラストを添えて滋
賀県土木部住宅課まで郵送。
問合せ●滋賀県土木部住宅課
TEL 077-528-4235

好っきゃねんアジア5周年記念 出店者・ボランティアスタッフ募集 10月1日(日) 12:00~

会場●大阪・中の島剣先広場
問合せ●好っきゃねんアジア事務局
TEL 06-6969-7878(森崎)

あなたも大津祭に参加してみませんか? 10月8日(日) 8:00~

場所●大津市内・天孫神社氏子区域
参加要件●18~65才の男性
(先着50名)
問合せ●大津祭曳山連盟(岸本)
TEL 077-524-3255

湖南新発見in栗東さくら 屋台村出店募集 11月4日(土) 13:30~ 11月5日(日) 10:00~

場所●JR栗東駅前栗東さくらシンボ
ル広場 募集数●20店舗
出店料●1000円/1区画
締切●10月2日(月)
問合せ●草津県事務所農業振興課内
湖南再発見イベント係(中村・丸山・松井)
TEL 077-567-5421

湖南新発見in栗東さくら 子ども用品フリーマーケット募集 11月4日(土) 13:30~ 11月5日(日) 10:00~

場所●JR栗東駅前栗東さくらシンボ
ル広場 募集数●48店舗
出店料●500円/1区画
問合せ●草津県事務所農業振興課内
湖南再発見イベント係(中村・丸山・松井)
TEL 077-567-5421

第14回びわこカラオケ優勝大会 出演者募集 11月5日(日) 13:00~

会場●八日市文化芸術会館
参加費●3000円
問合せ●八日市カラオケ文化連盟

TEL 0748-22-2526(福田)

VOICE日本語スピーチ大会 「彦根からのメッセージ」参加者募集 11月19日(日) 13:00~

会場●ビバシティ彦根2階ビバシティホ
ール 出場資格●日本に滞在し、外国
語として日本語を勉強されている方・
10名 参加費●無料
問合せ●VOICE事務局(丹下)
TEL 0749-23-5517

カンボジア・ラオスに 絵本を届けてください 通年募集

内容●日本で出版された絵本に翻訳シ
ールを貼りつける作業です。
ご家庭で参加していただけます。
参加費●セットをお分けする際に費用
がかかります。1000~2000円/冊
問合せ●(社)シャンティ国際ボランテ
ィア会・絵本を届ける運動
TEL 03-5360-1233

運転者・介助者ボランティア募集 (草津市・栗東町在住者)

内容●人工透析患者の送迎
問合せ●(社)滋賀県腎臓病患者福祉
協会 TEL 077-521-0313

エコライフびわ湖賞 応募作品・商品募集

応募●一人何点でも応募できます。
募集期間●10月31日(火)まで
問合せ●(財)淡海環境保全財団エコ
ライフびわ湖賞運営委員会事務局
TEL 077-524-7168
ohmi9@mx.biwa.ne.jp

環境家計簿体験募集

募集期間●10月31日(火)必着
内容●家族ぐるみで環境家計簿に取り
組んだ体験談。A4版2000字以内
問合せ●(財)淡海環境保全財団
TEL 077-524-7168
ohmi9@mx.biwa.ne.jp

滋賀のミレニアム記念論文募集 「私の描く滋賀の未来図」

応募規定●400字詰原稿用紙20枚程度
募集期限●9月29日(金)当日消印有効
問合せ●滋賀総合研究所・滋賀のミレ
ニアム記念論文係 TEL 077-525-2871

OSAKA NPOアワード2000 市民活動発表会参加団体募集

開催日時●12月2日(土) 14:00~
会場●ドーンセンター(大阪市中央区)
募集締切●10月20日(金)必着
参加費●2000円 提出書類●「応募

ビデオ上映「住民が選択した町の福祉」 9月10日(日)・24日(日) 9:30~

会場●彦根銀座商店街リサイクルステーション 参加費●無料
問合せ●女性がいきいき暮らすための生活文化を考える会 0749-23-0007(阿部)

用紙」「団体概要」および団体の資料
など 問合せ●大阪NPOセンター
TEL 06-6361-5307
osakanpo@osk2.3web.ne.jp

空き店舗利用のお店始めます。 仲間を捜しています

内容●大津ナカマチ商店街で町づくり
センターを計画中。空き店舗を利用し
てお店を始めます。
問合せ●大津の町家を考える会
TEL 077-524-5487(浅野)

あなたも里親になってください!

内容●家庭に恵まれない子どもたちに
家庭を提供し、家庭の味を知ってもら
うボランティアです。
問合せ●大津市里親会 共同作業所「瑞
穂」内 TEL 077-525-9520
野洲町レクリエーション研究会

ボランティア募集

私たち野洲町レクリエーション研究会
は約30年の歴史があります。ボランテ
ィア活動を町内でしています。私たち
はささやかで地道に、自分たちが出来
ることをすることが最大の喜びと信じ
て活動しています。こんなサークルが
あることも知ってネ。
<http://www.biwa.ne.jp/teru5610>
問合せ●077-586-1563(青木)

助成金情報

(財)こども未来財団 児童健全育成ボランティア活動振興・ 助成

受付期間●12月末日
対象活動●児童の健全育成に関わるボ
ランティア活動への取組みを支援し、
地域社会のボランティア活動の活性化
を図ることをねらいとして実施するボ
ランティアコーディネーターを養成す
るための研修事業
問合せ●(財)こども未来財団事業振
興部(横山) TEL 03-5550-9460

お知らせ

宅老所「はな」オープン

内容●ゆったりとしたペースで、自然
豊かな場所でのひとときを過ごしても
らいます。
場所●大津市坂本5丁目26-21
問合せ●宅老所「はな」
TEL 077-578-6587

あなたが参加してみても感じたこと、気が付いたことをお待ちしています。

9月・10月 伝言板

心をむすび* リレーエッセイ

●「サロンから生まれたい関係」●

米原町社会福祉協議会
地域福祉課 中村静代

今地域に広がりつつあるふれあい・いきいきサロンのきっかけに身近な地域の中でボランティア活動をする人たちが増えてきました。「センターまでは遠くて行けないけれど、歩いて行ける公民館や集会所でなら私にもできることがあるかもしれない」そんな思いの人たちが、サロンボランティア、声かけボランティア、野菜提供ボランティアや調理ボランティアとして動きはじめました。「元気やったか」「風邪は治ったか」「この間のおつけものおいしかったわ」。にぎやかな会話が始められます。そしてそこは地域の情報交換の場でもあるのです。地域の中でボランティアが誕生し、いきいきと楽しく活動する輪ができ、閉じこもりがちだった高齢者がサロンに遊びにくるようになり、人々の間に気楽に話せる関係づくりができました。気疲れしない心地いい雰囲気も漂っています。人それぞれいろんなつながり方があっていいと思います。助け合える関係はある日突然できるものではありません。きっと、人と人が互いに支えあっていけるまちづくりってこんな、なにげない所から始まるのでしょうか。



今回は「米原アミティ」の垣見芳男さんです。

イベント

爆笑サタデービア秋祭り
9月9日(土) 17:00~

会場●南彦根クリニックデイケア室
参加費●500円(軽食付)
問合せ●南彦根クリニック
TEL 0749-24-7808

爽秋に響くチェロとピアノを楽しむ
9月9日(土) 14:00~

参加費●無料・先着100名(要事前申込)
場所・問合せ●ダイニクアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

幸せで健康な生き方講座
9月9日(土) 13:30~

講師●阿野賢二先生
会場●草津商工会議所
参加費●1000円(参考用本代含む)
問合せ●生き方研究会滋賀交流会
TEL 090-7872-7642(松井)

天筒靖昌写真展「滋賀の水鳥」
9月9日(土)~10月29日(日)

場所・問合せ●ダイニクアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

中秋の名月特別観望会
9月12日(火) 19:30~

参加費●小中学生100円・高校生以上200円(要事前申込)先着100名
場所・問合せ●ダイニクアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

ビデオシアター「きこばとん」
9月17日(日) 10:00~14:00~

会場・問合せ●県立女性センター
TEL 0748-37-3751

茜トークサークル第64回例会
9月30日(土) 13:30~

内容●死を見つめるトレーニング
~死生観を鍛えよう~
会場●大津市生涯学習センター
参加費●500円

問合せ●茜トーク事務局(木下)
TEL 077-522-6897

ミュージカル・サブロウ
9月30日(土) 18:30~
10月1日(日) 13:30~

会場●甲南町情報交流センター
入場料●1000円
問合せ●ミュージカル「サブロウ」実行委員会事務局
TEL 0748-86-4158

長浜芸術版楽市楽座
アートインナガハマ2000
10月7日(土)・8日(日) 10:00~

場所●長浜市街地商店街
問合せ●長浜芸術版楽市楽座運営委員会事務局 TEL 0749-65-0393
ain@mx.biwa.ne.jp

全国一斉ネイチャーゲーム大会
10月22日(日) 10:00~

内容●午前/ネイチャーゲームで遊ぼう・午後/自然物でクラフトを作ろう
場所●甲西町青少年自然道場
参加費●大人400円・子ども300円
問合せ●びわこネイチャーゲームの会
TEL 0748-74-3645(近野)

第30回おのみフリーマーケット
10月22日(日) 10:00~

場所●栗東町野洲川運動公園
参加費●1000円/ブース(2m×2m)
問合せ●おのみフリーマーケット実行委員会TEL 090-8386-0503(九里)

親子の天文教室第5回
「太陽ってどんな星?」
10月28日(土) 13:45~

参加料●500円(要事前申込)
場所・問合せ●ダイニクアストロパーク天究館 TEL 0749-48-1820

第5回綿向山の日
~ふれあい綿向山Day
11月10日(金) 9:00~

内容●綿向山登山やバザー、コンサートなど
場所●綿向山山頂および3合目小屋
問合せ●鈴鹿モルゲンロートクラブ(福本)
TEL 0748-52-0445
f-shuiti@mx.biwa.ne.jp

交流会・勉強会

子育て連続講座
9月2日(土) 10月26日(木)
11月2日(木) 各10:00~

講師●伊藤えり子さん(子ども情報研究センター)会場●草津アマカホール
問合せ●NPO子どもネットワークセンター天氣村 TEL 077-564-7868

音楽療法講習会
9月10日(日) 9:45~

内容●痴呆患者に対するメンタルケアと障害を持った高齢者のリハビリ
場所●大津市生涯学習センター
参加費●2500円
問合せ●ふれあいネットワーク♪音楽療法TEL 070-5383-3069(市原)

生き方研究会滋賀草津交流会
9月10日(日)
10月15日(日) 各13:30~

会場●ウイングバレスくさつ
参加費●500円(初回無料)
問合せ●生き方研究会滋賀交流会
TEL 090-7872-7642(松井)

あけぼの会「ピア・カウンセリング」
9月10日(日) 10:00~

内容●乳がん体験者のおしゃべり会
会場●ウイングバレス草津
問合せ●あけぼの会滋賀支部
TEL 0749-23-6056(岡)

近畿ろうきんボランティアセミナー
9月12日(火) 13:30~

内容●シルバーの元気なパワーと地域福祉を担うことを期待されるNPOとの出合いの場。会場●ピアザ淡海
問合せ●滋賀県労働者福祉協議会
TEL 077-524-6290
s-rohuku@mx.biwa.ne.jp

生き方研究会滋賀わかさ交流会
9月20日(水)
10月4日(水) 各13:00~

会場●光澤寺(五個荘町)
参加費●500円(初回無料)
問合せ●生き方研究会滋賀交流会
TEL 090-7872-7642(松井)

みんなで語ろう!井戸端会議
「女と男のパートナーシップ」
10月7日(土) 13:30~

内容●従来男性の職場とされてきた行政、医師、ホテル、タクシー業界などで立場をお持ちの女性を巻き、意見交換をします。会場●野洲文化ホール
問合せ●野洲町女性問題を考える会(つつじの会)
TEL 077-588-0668(伊藤)

エイズ研修シリーズ(全4回)
10月14日(土)・28日(土) 14:00~

CENTER INFORMATION

市民活動アドバイザー 派遣制度のご案内

市民活動の悩みにおこたえます！

淡海ネットワークセンターでは、市民活動についての様々な悩みに対して、専門的なアドバイスをする市民活動アドバイザーを派遣します。

◆派遣対象／市民活動を行っている団体またはこれから活動を始めようとするグループ。

◆派遣の分野／ボランティア等の市民活動に関する事項とし、主として他の支援機関が対応しない分野。

◆派遣回数および経費／派遣に要するアドバイザーの謝金および交通費は、1団体あたり最初の1回に限り、センターが負担します。

◆派遣手続き

・アドバイザー派遣依頼書に、アドバイザーへの相談内容、希望アドバイザー等を記入の上、センターあてに提出してください。

・センターは、アドバイス依頼の内容を検討し、アドバイザーとの調整の上、派遣を決定します。

・派遣を受けた日から2週間以内にアドバイザー派遣報告書をセンターに提出してください。

・活動団体等が、引き続きアドバイスを必要とする場合、センターが仲介に応じます。なお、派遣にかかる費用は団体の負担となります。

おうみ市民活動屋台村

～のれんをくぐれば〇〇〇〇～

9月30日(土)10月1日(日)の2日間、県立県民交流センターを会場に、「おうみ市民活動屋台村」を開催します。当日は、まちづくり、環境、福祉、国際交流、芸術文化などさまざまな市民団体、NPOが主体的に実施する交流会・展示・発表会・ワークショップなどの催しがあります。また、ピアザ淡海前の大津湖岸なぎさ公園打出の森では、フリーマーケット(10月1日)も開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

淡海ネットワークサロンのご案内

■訪問サロン
～現場を訪ねて聞いてみよう!■

■第2回 里山で遊ぼう

場所●こんぜ桃源郷(栗東町)

ゲスト●澤九麻男さん

日時●9月9日(土)14:00～16:00

参加費●200円(お茶代等)

■第3回 町家を活かしたまちづくり

場所●大津市逢坂支所集合(JR大津駅前)

ゲスト●大津の町家を考える会

青山菖子さん

日時●10月21日(土)13:00～16:00

参加費●200円(お茶代等)

ご案内

◆県外団体交流会のおしらせ

10月28日(土)29日(日)の両日、石川県の加賀温泉にて静岡、石川、鳥取の4県の市民活動の交流を予定しています。詳細は後日お知らせします。

◆ファックス情報サービス登録募集

センターへ寄せられるさまざまな情報をよりスピーディーにお伝えするため、ファックス情報サービスを開始します。このサービスを希望される団体を募集しています。登録は原則として団体・グループとさせていただきます。

◆淡海NPOデータファイル追補版発行

昨年度発行しましたデータファイルの追補版で、新たにセンターへ登録された団体、連絡先に変更があった団体について収録しています。ご希望の方はセンターまで。なお郵送ご希望の方は送料として200円分切手同封のうえ、お申し込みください。

編集後記

屋台村で見つけてください。

今月号では4月の施行後半年を迎えた介護保険とNPOとの関わりについて特集しました。取材させていただく中で、介護保険を単なる「保険」という制度で終わらせるのか、それを契機として自分たちの住んでいるまちをより住みやすくしていくのかは、市民の取りくみ方ひとつだと改めて感じました。

さて、9月30日・10月1日の2日間、ピアザ淡海の2F・3Fで“おう

み市民活動屋台村～のれんをくぐれば〇〇〇〇”を開催します。講演・映画・交流会・サロン・フリマなどNPO・市民活動にどっぷりはまっている人から“NPOってな～に?”の方まで楽しんでいただける盛りだくさんの内容を用意しています。自分にぴったりの4文字を屋台村で見つけてください。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net

■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

